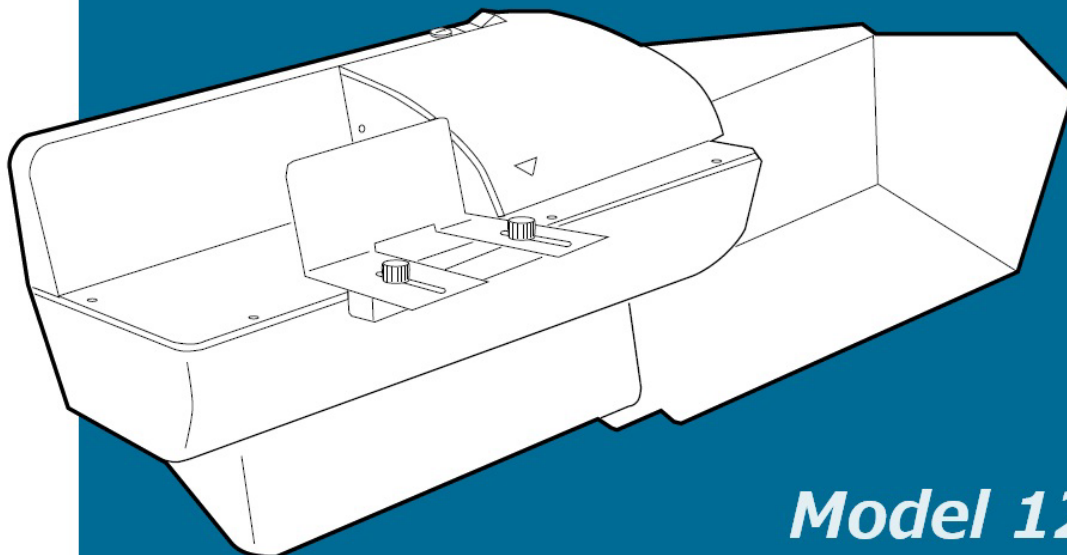


ピツニーボウズ開封機 1227型

取り扱い説明書

*Letter
Opener*



Model 1227

この度は、ピツニーボウズ1227型開封機をご採用いただき、誠にありがとうございました。

本書では、ピツニーボウズ1227型開封機（以下、1227と記載します）について説明します。1227はオートフィードタイプの高速開封機です。ご使用になる前に必ずこの説明書をご覧ください、1227の機能を十分にご理解の上、ご使用ください。

また、次ページの「安全にご使用いただくために」を遵守してご使用ください。

目次

安全にご使用いただくために	2
設置及び移動の注意	2
電源及びアース接続時の注意	3
機械使用上の注意	4
ピツニーボウズ 1227 型開封機について	5
各部の名称	5
スタッカー、封筒ガイド組み立て	6
開封物の準備	7
操作方法	7
封筒詰まり除去	9
機械仕様	9
メモ	10

安全にご使用いただくために

機械を安全にご使用いただくために、ご使用になる前に必ず「安全にご使用いただくために」を最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容及び物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

⚠ 記号は、製品を取扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご使用ください。



⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



❗ 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



設置及び移動の注意



注意



- ・高温、多湿の場所及び換気が悪くホコリの多い場所には機械を置かないでください。火災や感電の原因になる事があります。



- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近い場所には機械を置かないでください。発火の原因となることがあります。



- ・機械は、水平で丈夫な場所に置いてください。
- ・機械の後部には通気口があります。機械を置く際は壁から10cm以上離してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。



- ・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷付き、火災や感電の原因となることがあります。



- ・直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。

電源及びアース接続時の注意

警告



- ・電源プラグは交流100V、15A専用コンセント以外にはさしこまないでください。火災や感電の恐れがあります。



- ・電源プラグやコンセントに付着したほこりは必ず取り除いてください。そのまま使用していると湿気などにより発熱や火災の原因となります。



- ・延長電源コードやタップは定格125V、15A未満のものは絶対に使用しないでください。異常な発熱や発煙などの恐れがあります。



- ・電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを痛め、火災や感電の恐れがあります。



- ・次のような時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切った後、電源コードを抜き、弊社コールセンターまでご連絡ください。

そのまま使用を続けると発火の恐れがあります。

＞機械から発煙したり、機械の外側が以上に熱くなったとき

＞異常な音がするとき

＞機械の内部に水が入ったとき



- ・電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。感電の恐れがあります。



- ・万一漏電した場合の感電事故を防ぐため、アースをとってください。

＜弊社の製品付属の電源コードは、全てアース付きのプラグになっています＞

注意



- ・電源を入れたままでプラグを抜き差ししないでください。プラグが変形し発火の原因となることがあります。



- ・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



- ・機械の清掃及び保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを「切」にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を切らずに機械の清掃及び保守、故障の処置を行うと、感電の原因となることがあります。



- ・長期間の間、本機をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを「切」にして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となることがあります。



- ・1か月に一度は機械の電源を切り、次のような点検をしてください。

なお、異常がある場合は弊社コールセンターまでご連絡下さい。

- ＞電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかどうか
- ＞電源プラグに異常な発熱及びサビ、曲りなどがないかどうか
- ＞電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていないかどうか
- ＞電源コードに亀裂や擦り傷などがないかどうか
- ＞アースが接続されているかどうか

その他

- ・ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害が無くなるかどうか確認してください。

本機の電源を切ると電波障害がなくなるようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ＞本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ＞本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ＞本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ＞受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。
- ＞ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

警告



- ・機械の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災や感電の恐れがあります。



- ・機械の通気口などから内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や、燃えやすいものなどや異物を差し込んだり落としたりしないでください。機械内部がショートし、火災や感電の恐れがあります。



- ・万一、異物（金属片、水、液体）が機器内部に入った場合は、まず電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。



- ・可動カバーを閉じた状態で使用してください。



- ・機械の改造や、部品を変更して使用しないでください。発火や発煙の恐れがあります。



- ・ローラーやブレードに手を近づけないでください。長髪、宝石類、ゆるい衣服が露出した状態で操作しないでください。



- ・機械をどの方向にも10°以上傾けないでください、また、本機を転倒させるような過度の力を加えないでください。

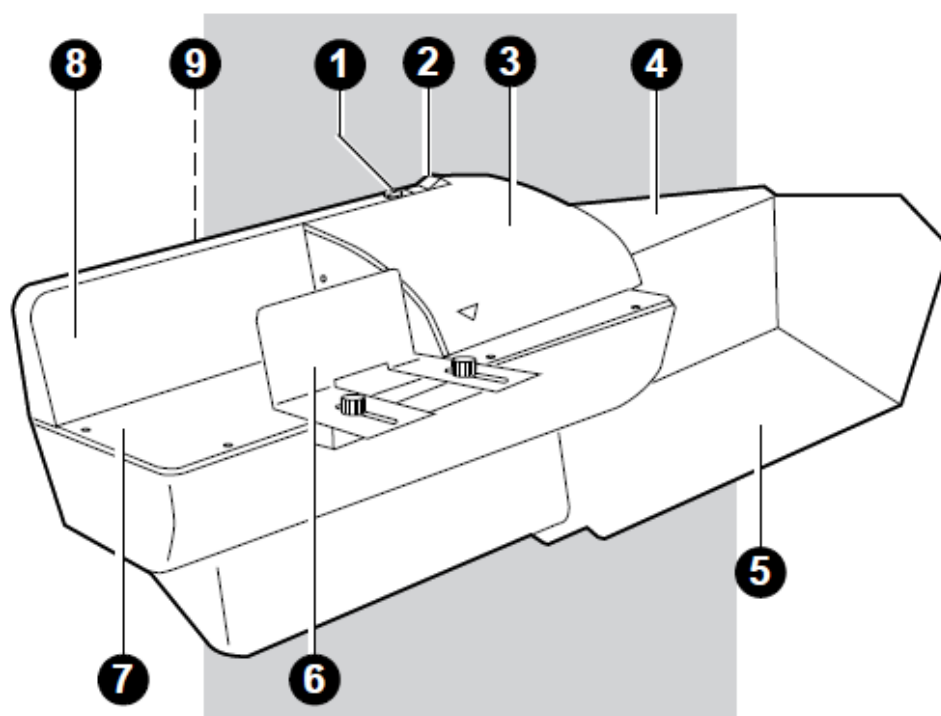


- ・この製品は使用期間終了後、電気・電子機器の分別回収専門センター、または同様の製品を購入した場合は販売店に持ち込む必要があります。

ピツニーボウズ1227型開封機について

ピツニーボウズ1227型開封機は、オフィスのデスクやテーブルにも簡単に設置できる省スペース設計で、定形から定形外（角2封筒など）まで、多種多様な封筒を容易に開封できる自動封筒開封機です。1227型開封機の処理スピードは毎分約400通です。開封後の郵便物はスタッカーに集積され、スピーディかつ効率的に作業できます。切幅調節ノブにより、封筒上端から切り取る深さを変更でき、切り取られた紙片は封筒とは別にスタックされるため、手早く簡単に廃棄できます。

各部の名称

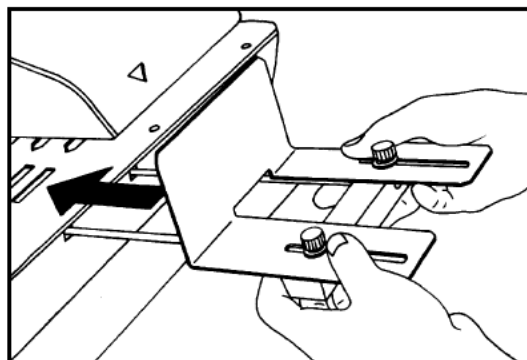


1. 切り幅調節ノブ ……………時計回りに回すと切り幅が大きくなり 反時計回りに回すと切り幅が小さくなります。
2. 電源スイッチ ……………スイッチを入れると開封処理が開始されます。
3. トップカバー ……………封筒や切りくずが詰まった際に開けてください。
4. 切りくずセパレーター ……切り取られた紙片と封筒を分けてスタックするための仕切り板です。
5. スタッカー ……………開封された封筒がスタックされます。
6. 封筒ガイド ……………封筒サイズに応じて容易に調整可能です。
7. フィードデッキ ……………封筒は高さ約100mmまで積載可能です。
8. デッキ背面壁 ……………開封する封筒の端をデッキの背面壁に当てセットしてください。
9. 電源インレット ……………電源コードを差し込みます。

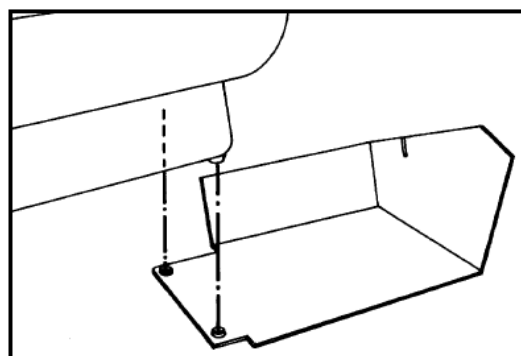
スタッカー、封筒ガイド組み立て

スタッカーと封筒ガイドの組み立て方について説明します。お客様の1227 が ピツニーボウズのサービスエンジニアによって設置された場合、この作業はすでに済んでいますので、次のセクションに進んでください。

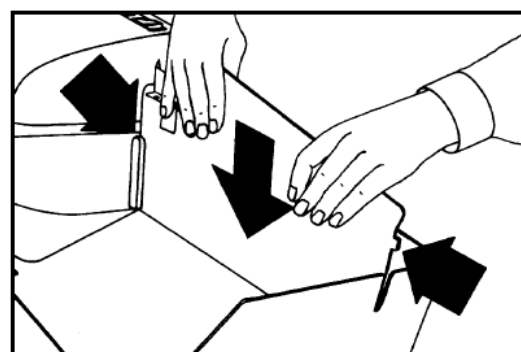
1. 封筒ガイドをフィードデッキ前面のフィードデッキの前面の穴にスライドして差し込みます。



2. スタックートレイの設置位置を決め、右側のゴム足がスタッカーベースプレートの穴に合うようにします。



3. 図のように、切りくずセパレータープレートを位置決めスロットに差し込んで取り付けます。



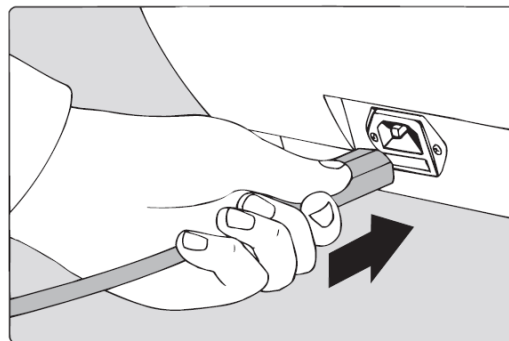
開封物の準備

以下の簡単なガイドラインに従うと、より効率的に開封作業が行えます。

- 一度にセットする封筒は、同じサイズのものに統一します。これにより、給紙がしやすくなります。
- 開封する側の辺を上にして封筒を軽くたたきます。これにより、内容物が開封する側と反対側に寄せられ、内容物の破損や、書類やクリップなどの硬い物体が刃に接触するのを防ぎます。

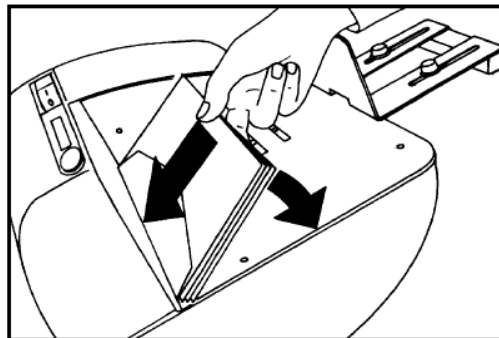
操作方法

1227の背面にある電源インレットに電源コードを差し込み、適切な壁コンセントに接続します。

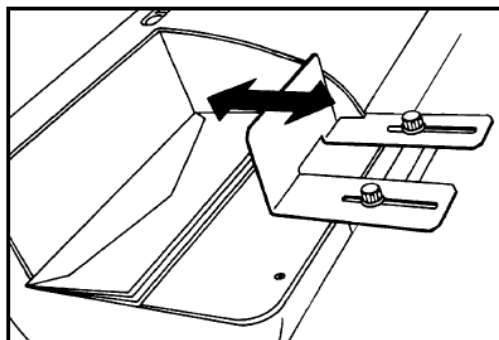


封筒の束をフィードデッキに置き、開封する端がデッキ背面壁に接するようにします。

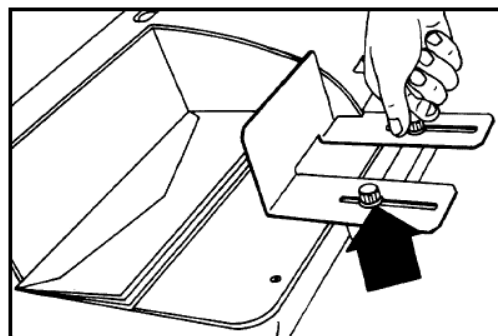
封筒の束の高さは、約100mmを超えないようにしてください。



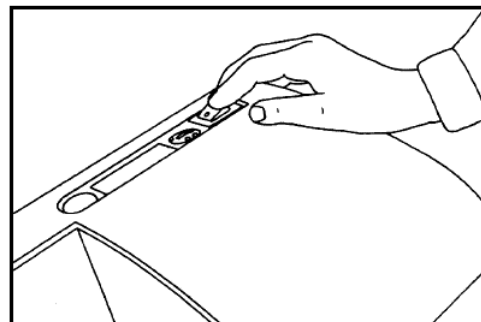
サイドガイドを封筒の幅に合わせて調整してください。これにより、安定して封筒がフィードされます。



サイズの小さい封筒を使用する場合は、2つのローレットノブを緩めて、ガイドが封筒に正しく合うように調整してください。



電源スイッチをオンにすると、搬送モーターが駆動し、封筒がフィードされて開封されます。



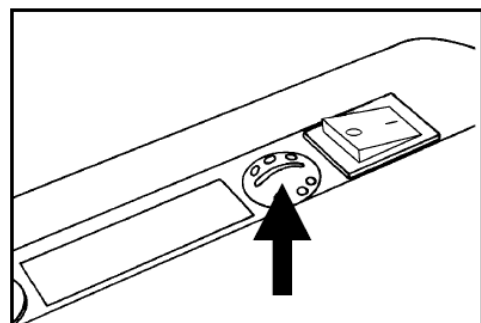
切り幅調節ノブを操作して、封筒切り幅のサイズを調整します。
ノブが固い場合は、中央の切り欠きにコインや硬貨などを差し込み
み回してください。

切り幅を大きくするにはノブを時計回りに回し、切り幅を小さく
するには反時計回りに回します。

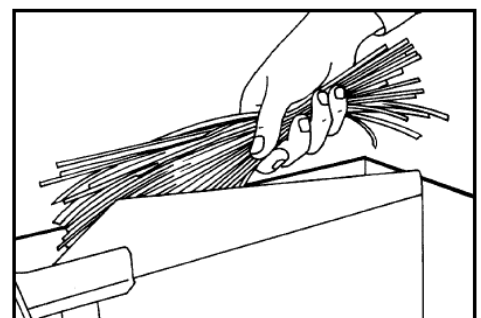
封筒の厚さに応じた切り幅の調整

薄い封筒：切り幅 小に設定

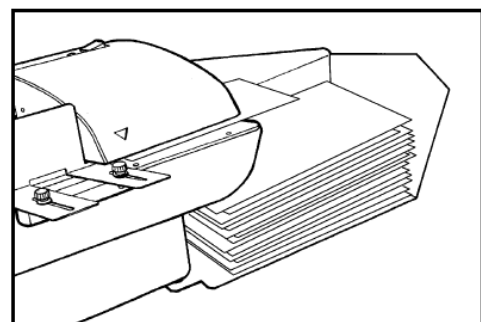
厚い封筒：切り幅 大に設定



連続動作時は、定期的に切りくず入れから切りくずを取り除い
てください。



開封された封筒が機械から排出される際に邪魔にならないよう、
定期的にスタックトレイから封筒を取り出してください。

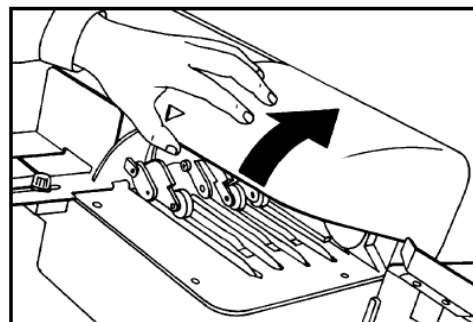


封筒詰まり除去

封筒詰まりが発生した場合は、以下の方法で詰まった封筒を除去してください。

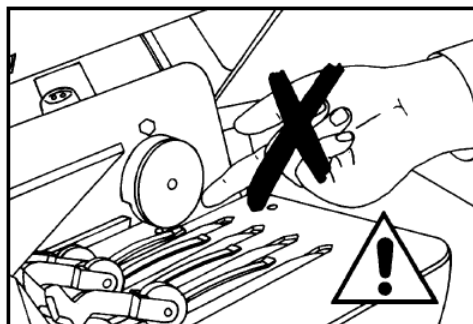
1. 電源を切り、TOPカバーを持ち上げます。
2. 圧力ローラーやブレードを傷つけないように注意しながら、詰まった封筒を取り除きます。

封筒を取り除く際は、プレッシャーローラーやブレードを傷つけないようにご注意ください。



警告

カッター刃に触れないでください。
鋭利な刃先ですので、触れると怪我の恐れがあります。



機械仕様

寸法	幅	850mm	(スタッカー含む)
	奥行	300mm	
	高さ	260mm	
	重量	14.0kg	

電源仕様	AC100v、50/60Hz
------	----------------

最小封筒サイズ	162mm × 95mm
最大封筒サイズ	330mm × 260mm
最大封筒厚み	約5mm

処理スピード	定形サイズ封筒で最高約400通/分
--------	-------------------

メモ

発売元

ピッニーボウズジャパン株式会社

デザイン及び仕様は予告なく変更することがあります。

PBJform1227 Rev, 2024